

教育ローン

神戸市職員信用組合「資金計画総合相談」

担当 中野F P (ファイナンシャルプランナー)

教育資金の準備は大変です。こつこつ貯蓄できているといいですが、進路が変わり予定外の支出になる場合もあります。

そんな助けになる「教育ローン」について、奨学金との違いと共に確認していきましょう。

●家計負担が大きくなるのは大学進学資金

大学は入学前と入学後にわけて、考えましょう。入学前費用は、受験代・入学金等学校納付金・教材費などがあり、私立自宅生の場合は平均 110 万円から 160 万円が必要といわれております。(下宿性の場合は、さらに 30 万円～60 万円必要です)

入学後の費用は、同じく私立自宅生で授業料・生活費で平均 170 万円/年と言われております。

●奨学金利用時の注意点

まず、知っておきたい基準が世帯年収の上限です。家族構成などにより異なりますが、給与所得者の場合の上限目安は 3 人世帯で 1,012 万円となっております。

詳しくは、日本学生支援機構のHPにてご確認ください。

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kakei/zaigaku/daigaku.html

●その他の注意点

奨学金は高校在学中に予約をし、大学入学後の5月から毎月支給されるという点です。

つまり、入学前費用(受験代・入学金などの学校納付金・教材費)には間に合わないの
で、注意しましょう。

●入学前費用には「教育ローン」

奨学金で間に合わない部分は、教育ローンを利用することとなります。教育ローンは親が金融機関に借りる制度です。奨学金は生徒・学生が借りますので、誰が借りて誰が返すかの違いを理解しておきましょう。

教育ローンは奨学金とは違い、申込時期は特定されておらず、申し込んだ金額が一括で融資されます。そのため、受験費用や入学金の支払いなど、支払期日の早いものに対応しやすくなっております。

●まとめ

特に大学進学のための資金は、総額把握と支払期日をできるだけ早い時期に確認しておいてください。入学金などが間に合わない場合は、せっかく合格しても入学できない事態となります。

もし心配な方は早めに金融機関に一度相談されておくことをおすすめいたします。前準備だけでもしておけば、いざというときにスムーズに対応できると思います。